

記念すべき初回は、言わずと知れた狭山市の特産品「狭山茶」のお茶摘み体験です。広報課の新入職員がレポートします！



今回訪れたのは北入曾にある「宮野園」(写真②)さん。5月上旬～9月頃までお茶摘み体験ができます。ご一緒したお客様は、神奈川と東京にお住まいの方で、静岡よりも距離が近いこと、茶摘みだけでなくお茶作り体験までできることから狭山市へいらっしゃったそうです。

"茶娘衣装"に着替え、皆さんと一緒に早速お茶畑(写真①)へ！新芽は「一芯二葉」(写真③)と呼ばれる、先端から2枚目の葉の下あたりで摘み取ります。摘み終えた茶葉は、とても柔らかい手触りで、ほんのりとお茶の香りがしました。

茶摘みを終えたら、摘んだ茶葉の一部を使ってお茶作り(写真④)に挑戦！電子レンジを使って茶葉を蒸し、加熱と手もみを繰り返して徐々に乾燥させ、煎

茶にしていきます。このとき急いで乾燥させると渋みが強くなるそうです。当園のおもてなし部長の宮野圭司さんは「大切なのは『美味しいお茶になりますように』と気持ちを込めること」だと教えてくれました。

体験中、よく冷えた煎茶・紅茶・ほうじ茶や摘みたての茶葉の天ぷら(写真⑤)をいただきました。どれも元は同じ茶葉だと知ってびっくり！さまざまな味を楽しむことができました。

狭山市育ちの私ですが、お茶摘みは初めての体験でした。手間暇かけて完成したお茶を見て、上手にお茶を淹れて美味しくいただきたいと感じました。狭山市内では、宮野園のほか、浅見園(笹井)と小島園(鶴ノ木)でお茶摘みができます。ぜひ体験してみてくださいね。



問合せ 農業振興課へ内線 2531

市民の皆さんに、思い入れのある品物などを紹介していただき、友人にバトンタッチします

私の宝物…

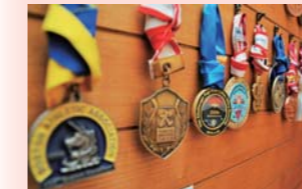
クロスカントリーで獲得したメダル



ありた 在田正義さん (広瀬台在住)

私の宝物は、長距離スキーのクロスカントリー大会で獲得したメダルです。競技用クロカンスキーに出会ったのは、裏磐梯の国民休暇村です。当時私は63歳でしたが、若い頃からマラソンを趣味にしていたこともあり、自分もやってみたく

思ったのです。始めて間もなく、「ワールドロペット」(WLI、長距離スキー競技の世界的団体)に属しているフィンドランドの大会に出場する機会がありました。当時のWLIには世界15か国が加入していましたが、そのうちの10大会を完走すると、「WLMスター」として表彰されます。そこで「70歳までにマスターを取得すること」を目標に掲げて世界中を転戦し72歳のとき、全15大会を完走して目標を大幅に達成するこ



もう一つの趣味であるマラソンのメダルも混じっています

今回は、水野にお住まいの方を紹介します。

このコーナーは、市民の皆さんを取材して作成しています



問合せ 齋藤京子さん
☎2957・6635

狭山市自治会連合会

令和元年度の役員が決まりました。

自治会連合会は、「輪」になって地域とともに住みよい狭山をスローガンに、各自治会や地区自治会連合会、狭山市と連携を密にして、自治会相互の交流を深め、地域づくりを推進していきます。一年間、よろしくお願いたします。

- 【市連合会役員】
 会長 栗原啓二 副会長 坂本比佐夫
 副会長 中村雅昭 幹事長 橋本良春 顧問 神坂清太郎
 【各地区連合会長】
 入間川 坂本比佐夫 入曾 橋本良春
 堀兼 中村雅昭 奥富 山谷雅篤
 柏原 栗原啓二 水富 中村金男
 新狭山 高橋和昌 狭山台 大澤進(敬称略)



写真提供:自治会連合会
 前列左から橋本幹事長、中村(雅)副会長、栗原会長、坂本副会長、神坂顧問、後列左から大澤地区連合会長、中村(金)地区連合会長、山谷地区連合会長

太極拳同好会「悠」

紹介してほしいサークルを募集します。ご希望の方は広報課までご連絡ください

私たちの会は、28名の会員が、毎週月曜日に水野公民館で活動しています。会の設立は、水野公民館が開館した平成元年6月で、「健康増進のために」と仲間同士で声を掛け合ってスタートしました。太極拳は、中国で生まれた武術ですが、ゆっくりと途切れない動作は、血流の流れを良くし、健康面に良い影響を与えることから、現在は健康法としても親しまれています。私たちの会では、五大流派の一つ、24式太極拳を練習しています。太極拳は、意識を集中させ、体のすべて、指先までも力を抜いた状態で体を動かします。そのとき大切なのは呼吸法です。初めはなかなかできないのですが、練習を重ねるうちに自然と身についてくると、とても気持ちがいいものです。続けることで、体の中から健康になり、かぜをひくことも、医者にかかることも少なくなりました。現在、公民館の文化祭での発表を一番の目標に、全員で練習に励んでいます。これからもみんなで健康のために活動していきたいと思えます。

Zoom up どうぶつ園

動物紹介 マナヅル (ツル目 ツル科) 全長約120cm

マナヅルは、暖かい季節をシベリア東南部や中国東北部で過ごす渡り鳥です。冬になると国内では九州地方や中国地方に飛来します。全身が灰色で頭の後ろから首にかけて白色の羽に覆われています。

生息数は全世界で6千羽前後と推定され、現在、絶滅危惧種に指定されています。

こども動物園では、オス1羽とメス1羽のペアを飼育しています。個体の識別のために、オスの左足とメスの右足にリングをそれぞれ着けています。

7月までの繁殖期には、顔が濃い赤色で、体は灰色のグラデーションがかかり、きれいな姿を見ることができます。



智光山公園こども動物園
 柏原864-1 ☎2953-9779
 月曜休園(祝日の場合は翌日)

イベント紹介 セタイイベント

ふれあい広場内に、願い事を書いた短冊を飾る竹を設置します。また、6日(土)・7日(日)、9時45分からニホンザルにエサの竹をプレゼントします。

日程 7月2日(火)～7日(日)

カピバラのじゃぶじゃぶタイム

カピバラのガイドを聞きながら、プールで泳ぐ姿を観察できます。

日時 7月13日(土)～9月1日(日)、13時からの毎日

飼育チャレンジ2019

動物の飼育など、飼育係の仕事体験します。
 対象 小学3～6年生 日時 7月26日(金) 9時～12時 定員 20名 費用 500円 申込み 7月16日(火)必着で、往復はがきに住所、氏名、学校名、学年、電話番号を記入して同園(〒350-1335 柏原864-1)へ